

■平成28年度事業報告（事業の状況）■

公益目的事業 本県木材関連産業の振興を図る事業

(1) 情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技术情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行った。

1) 情報紙の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

(発行回数：3回(78～80号) / 発行部数：各号650部)

NO	発行部数	発行日	主 な 内 容
第78号	650部	H28.7.30	木材基礎講座「くらしに活かす木のはなしII」 / 木高研・運営協議会 / 水と緑の森林祭に初参加 / ウッドデザイン賞・受賞 / WPCベンチの暴露試験 / 秋田自動車道・太平山PAの内装木質化 顧問による現地指導 / 機構事業をご利用下さい / 機構の理事会等 / 平成27年度依頼試験・技術相談のあらまし ほか
第79号	650部	H28.11.30	平成28年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞を受賞 / 材鑑見本が首都圏を行脚中 / 埋木の色調と鉄の関係について / ツーバイフォー工法～国産材利用の可能性～ コンサルタント事業の現場から / 秋田木質バイオマス研究会 / 能代市との合同講演会 / 業界情報 ほか
第80号	650部	H29.3.31	「モクコレ」で関心集めた秋田の木材・加工製品 / CLTへの関心の高さから130名余参加(木高研講演会) / のしるまち灯り・冬 / 超撥水性木材の開発 一過去と未来の撥水性木材－ / 木高研関係者の日本木材学会他での発表 CLTを土木分野で活用！ / 【寄稿】第一期生が秋田林業大学校を修了 / 建築講座の開講 / CLT・JAS取得の取り組み / お知らせ / 推進機構理事会 / 人事消息 / 新任者紹介 ほか

2) ホームページの運用

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

更新回数：HP8回、FB37回 / トップページへのアクセス数：3,515件

(2) 技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問を行った。

1) 相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

相談件数 88件

① 内容別内訳 (件)

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
22	3	21	42	88

② 業種別内訳

(件)

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
3	45	3	5	13	4	15	88

2) 現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いて現地指導を行った。

顧問指導 2社 / 技術コンサルタント指導 5社

顧問・技術コンサルタントによる指導

区分	指導日	対応者	業種	内容
顧問指導	H28. 7. 1	飯島泰男 顧問	製材	・平成26年度森林・林業白書(H27. 5)を読む ・森林資源の状況と製材産業の課題 ・秋田林業史
	H28. 12. 3	飯島泰男 顧問	林業	・最近の木材事情 ～付加価値の高い丸太生産を図るには～
技術コンサルタント指導	H28. 5. 10	山内秀文 准教授	設計	・複合フローリングの凹凸の発生原因調査について
	H28. 8. 25	高田克彦 教授	木材加工	・バイオマス発電用チップ生産に向けて チップの選定とチップの水分管理について
	H28. 10. 31	山内秀文 准教授	張天	・接着剤の塗布量と圧縮時間・仕上がり 状態の相関性
	H28. 12. 12	林 知行 所長 高田克彦 教授	林業 製材	・CLTの現状と今後について ・秋田スギ資源の現状から今後の利用を 考える
	H29. 2. 3	高田克彦 教授	住宅 建築	・秋田県のスギの材質特性について

3) 企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

訪問企業数 108社

社(延べ)

林業	製材	合板	集成材	フローリング	フレカット	チップ	家具 木工	建具	流通 市場	工務 店	その他	計
3	38	2	26	4	2	3	3	6	10	2	9	108

(3) 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

1) 公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題
H29. 2. 17	キャッスルホテル 能代	134名	木材高度加工研究所 林 知行 教授/所長	木高研のCLT製造及び活用に向けた取組について
			(一社)日本CLT協会 西妻博康 部長	CLTの製造・加工方法及び今後の取組について
			秋田県立大学 板垣直行 教授	木造防耐火技術の動向とスギを活用した耐火部材の取組
			県林業木材産業課 土田信次 主幹	秋田県木材利用促進条例と指針の概要

2) 技術研修会

木材関連産業に係る行政施策や業界の動向、制度改正などに迅速適切に対応しようとする企業等を対象に、技術研修会を開催した。

① 研修会の開催（能代市と共催）

開催日	会場	参加者	講師	演題・テーマ
H28. 11. 11	木高研 研修室	36名	秋田公立美術大学 准教授 小杉栄次郎 氏 設計チーム木協同組合 代表理事 西方里見 氏	・市街地木質化実証モデル事業の取り組みについて ・道の駅ふたつにおける木材利用について

② 新しい木質部材等を学ぶ建築講座の開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	講師	演題・テーマ
H29. 1. 25	秋田市 ユース パル	59名	木材高度加工研究所 所長・教授 林 知行 氏 木構造振興株式会社 客員研究員 原田浩司 氏	・変わる木質部材と木造建築 ・木造建築の世界
H29. 2. 25	秋田市 文化会館	47名	木材高度加工研究所 准教授 岡崎泰男 氏 木材高度加工研究所 教授 中村昇 氏	・木材の基礎物性 ・構造材として注意すべき木材の特徴とこれからの木造
H29. 3. 18	秋田市 文化会館	72名	秋田県立大学 教授 板垣直行氏 (株)スタジオ・クハラ・ヤギ 代表取締役 久原裕 氏 代表取締役 八木敦司氏	・中大規模木造の可能性を広げる構造および耐火部材の開発 ・都市木造は普及の段階へ ～3階建て準耐火木造災害公営住宅と7階建て木質ハイブリッドオフィスビルの実作を中心に～

収益事業等	木材に関する調査・研究等を行う事業
-------	-------------------

企業や官公庁から発注される次のような木材に関する調査・研究事業等を行った。

- 1 企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や熱伝導率などの物性試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定、ドアの音響試験など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施する。
- 2 国の各省庁等が発注する木材の調査・研究に関する業務を受託する。
- 3 自治体等からの依頼を受け、木製ダム・木柵・木橋等の木製構造物の劣化等の診断を実施する。

受託件数：80件

分野	件数	主な試験内容
強度試験	46	・集成材の曲げ試験 ・CLTの各種試験 ・鉛直構面の面内せん断試験 ・イスの強度試験 ・簡易型接合金物のせん断試験 ほか
物性試験	26	・集成材の減圧加圧はく離試験 ・新規開発接着剤の接着性試験 ほか
その他	8	・間伐材を用いた土砂・雪崩災害警報システムにおける木柵屋内試験 ・木製治山ダム健全度調査 ほか

■貸借対照表■

平成29年3月31日現在(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,248,746	578,107	670,639
定期預金	250,000	250,000	0
未収金	3,210,840	3,353,663	△ 142,823
流動資産合計	4,709,586	4,181,770	527,816
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	35,948,602	39,603,322	△ 3,654,720
基本財産定期預金	18,150,000	18,150,000	0
基本財産未収金	3,654,720	0	3,654,720
基本財産投資有価証券	656,102,444	674,258,554	△ 18,156,110
基本財産合計	713,855,766	732,011,876	△ 18,156,110
(2) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
その他固定資産合計	144,000	144,000	0
固定資産合計	713,999,766	732,155,876	△ 18,156,110
資 産 合 計	718,709,352	736,337,646	△ 17,628,294
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,125,549	416,793	708,756
預り金	108,817	103,938	4,879
流動負債合計	1,234,366	520,731	713,635
負 債 合 計	1,234,366	520,731	713,635
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	600,000,000	600,000,000	0
基本財産評価益	113,855,766	132,011,876	△ 18,156,110
指定正味財産合計	713,855,766	732,011,876	△ 18,156,110
(うち基本財産への充当額)	(713,855,766)	(732,011,876)	△ 18,156,110
2. 一般正味財産	3,619,220	3,805,039	△ 185,819
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	717,474,986	735,816,915	△ 18,341,929
負債及び正味財産合計	718,709,352	736,337,646	△ 17,628,294